（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス岐阜長森教室			
○保護者評価実施期間	令和8年　10月　1日	～	令和8年　10月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	23	（回答者数）	22
○従業者評価実施期間	令和8年　10月　1日	～	令和8年　10月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　11月　10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内のイベント等での連携	マルエイのグループ会社と連携して、ソーシャルサポートでの就労体験や農業体験などのイベントを行い、将来働くことに意識が向くような活動を取り入れています。また、子どもたちや保護者との面談等で長所を共有し、どんな職種や仕事内容に向いているのか等、卒業後や就職したときの生活に見通しが持てるようにしています。	弊社の他部署、マルエイグループ会社の中で就労体験やイベントで交流をしている所が毎年決まっています。さらなる職種の就労体験やイベント交流が出来るように法人内外との連携を組織的に行えるようにしていきます。
2	就労を意識したトレーニングとご本人やご家族のニーズに沿った支援	就労を意識したパソコントレーニングや就労トレーニングの中での作業活動を通して、集中力や作業手順を守る力、報告・相談する力を身に付けられるように支援しています。また、子どもたちや保護者との面談でニーズを把握し、おやつ作りやご飯作り、工作、運動、裁縫、季節のイベント等を取り入れ、生活力や協調性を育みながら、一人ひとりの希望に沿った支援を行っています。	就労に必要なコミュニケーション力、時間や作業手順を守る力等を身に付けられるよう、実践的なトレーニングをより充実させていきます。また、子どもたちや保護者との面談を継続し、ニーズや成長に応じて活動内容を見直すことで、一人ひとりの将来の目標や自立に向けた支援に繋げていきます。
3	自立に向けた子ども達主体の活動の提案	子ども達が自分で考えて選択し、主体的に活動に取り組めるよう、おやつ作りやご飯作り、工作、余暇活動等において、子ども達の意見やアイデアを積極的に取り入れています。活動内容や進め方を自分達で考える機会を設けることで、自分で決めて行動する力や友達と協力する力を育み、将来の自立に繋がるように支援しています。	活動内容の企画や材料の選択、役割分担などを子ども達主体で進める機会を増やしていきます。また、予算を考えた買い物や調理、道具の管理、準備と片付けなど、実生活にも繋がる経験を取り入れます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方や学童児童などとの交流の機会	運動会等で地域の放課後等デイサービスとの交流はあったが、地域住民や学童児童などとの交流を設けることができていないことが課題です。また、地域の関係機関との連携や交流に繋がる関係づくりが十分ではなく、継続的な交流活動の企画・実施に至っていないことも要因として考えられます。	地域の行事やイベントへの積極的な参加を通して、地域住民との交流機会を増やしていきます。また、学童保育や近隣の関係機関をの連携を深め、合同での活動や情報交換などを検討します。
2	マニュアルや発生を想定した訓練の保護者への周知の仕方	事業所として、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、発生を想定した訓練は実施しているものの、その内容や実施状況について保護者へ十分に周知する機会が少ないことが課題と考えられます。	マニュアルの内容や訓練の実施状況について、通信や配布資料、連絡アプリなどを活用して定期的に周知していきます。また、訓練の実施内容や緊急時の対応方法を分かりやすく伝え、保護者が安心して利用できるよう、情報共有の機会を増やしていきます。
3	保護者同士の交流の機会やきょうだい同士の交流の機会	文化祭やお餅つき大会などの親子イベント、保護者会を開催し、保護者やきょうだいが交流できる機会を設けていますが、保護者同士やきょうだい同士が継続的に交流できる機会はまだ十分とはいえません。より多くの家庭が参加しやすい交流の場を設けていくことが課題だと考えています。	文化祭や親子イベント、保護者会などを継続して開催し、保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会を増やしていきます。また、保護者の意見や希望を取り入れながら、参加しやすい開催方法や内容を工夫し、子育ての悩みや情報を共有できる場を設けることで、家庭同士の繋がりを深めていけるように取り組んでいきます。